

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第8号を下記のとおり発表したの送付します。

令和7年度病虫害発生予報第8号

令和7年10月29日
岡山県

予報概評

作物名	病虫害名	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病	並
	べと病	並
	コナガ	やや多
	ハスモンヨトウ	やや多
	アブラムシ類	並

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 10月27日の県予察ほ場（ハクサイ）の調査では、
平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月21、24日の巡回調査では、発生ほ場率は14.3%で
平年（18.1%）並であった。

ウ. 10月23日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、
降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合
発病を助長する条件となる。

(2) べと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 10月27日の県予察ほ場（ハクサイ）の調査では、
平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月21、24日の巡回調査によると、キャベツでは発生を認めず、
発生ほ場率は平年（6.0%）よりやや低く、ハクサイでは発生ほ場率

14.3%と平年（14.5%）並であった。

ウ．10月23日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合発病を助長する条件となる。

（3）コナガ

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～4半旬の誘殺数は22頭で平年（8.4頭）より多かった。

イ．10月21、24日の巡回調査によると、ダイコンでは発生を認めず、発生圃場率は平年（33.5%）より低かった。ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、平年（キャベツ、ハクサイとも平年値8.0%）並であった。

ウ．10月23日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並または多いとされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

（4）ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～4半旬の誘殺数は2,633頭で平年（1,955頭）よりやや多かった。

イ．10月21、24日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めなかった。

ウ．10月23日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並または多いとされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

（5）アブラムシ類

予報内容

発生量 **並**

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～4半旬の飛来数は266頭で平年（196.4頭）よりやや多かった。

イ．10月21、24日の巡回調査によると、ハクサイ（平年値2.8%）、キャベツ（平年値0.0%）、ダイコン（平年値7.7%）のいずれも発生を認めず、発生圃場率は平年並みであった。

ウ．10月23日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並または多いとされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

